

安全データシート

(表紙)

化学品及び会社情報

製品名

ハーレイ DF

販売会社名

丸和バイオケミカル株式会社

住所

東京都千代田区神田須田町 2-19-23

担当部門

開発本部 登録・環境グループ

電話番号 / FAX

Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323

推奨用途

除草剤

使用上の制限

農薬登録以外の使用は不可

緊急連絡先: 03-5962-9731 (9時～17時 土日祝を除く)

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 365日24時間対応

	一般市民専用電話 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1件2000円)
大阪	072-727-2499	072-726-9923
つくば	029-852-9999	029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート(SDS)を参照してください。

化学品の名称: ハーレイ 25DF

発行日: 2020/11/30

印刷日: 2020/11/30

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M) SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: ハーレイ 25DF

推奨用途及び使用上の制限

特定用途: 除草剤

会社情報

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社

100-6110

東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

会社電話番号 : 03-3519-3410
電子メールアドレス : SDS@corteva.com
FAX番号 : 03-3519-3370

緊急連絡電話番号 :
24時間対応緊急連絡先 : 0800-170-5827
緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

水生環境有害性 短期（急性） - 区分 2

水生環境有害性 長期（慢性） - 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語：警告！

危険有害性情報

水生生物に毒性。

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

応急措置

漏出物を回収すること。

廃棄

内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

他の有害危険性

データなし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名	CASRN	化審法番号	安衛法番号	濃度又は濃度範囲
リムスルフロン	122931-48-0		8-(2)-1931	25.0%
Alkyl naphthalenesulfonic acid, polymer with formaldehyde, sodium salt	68425-94-5			>= 10.0 - < 20.0 %

4. 応急措置

必要な応急措置

一般的アドバイス：

意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。

吸入：新鮮な空気の場所へ移す。 症状が続く場合には、医療機関で診察を受ける。 人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。 中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

皮膚接触: 直ちに汚染された衣服を脱がせる。皮膚を直ちに多量の水で 15-20 分間洗う。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

眼に入った場合: 目を開け水で 15-20 分間ゆっくり穏やかに洗う。コンタクトレンズを着用している場合は 5 分後に外し、その後も洗浄を続けること。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

飲み込んだ場合: 飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。毒物管理センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐を誘引しない。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状:

人に対する中毒の例は知られていない、また実験的中毒の症状も知られていない。

緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

医師に対する特別な注意事項: 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 水噴霧 耐アルコール泡消火剤

使ってはならない消火剤: 粉末消火剤

特有の危険有害性

有害燃焼副産物: データなし

異常な火災および爆発の危険: 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。泡を使用するとかなりの量の水素ガスが放出されるが、泡で覆い閉じ込めることができる。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

消防士へのアドバイス

消火手順: 消火剤を容器の内容物に接触させない。ほとんどの消火剤は水素の発生を引き起こし、消火すると、換気の悪い場所や密閉された場所に蓄積し、発火した場合、フラッシュ火災や爆発を引き起こす可能性がある。安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。区域から退避させること。現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。

消火を行う者の保護: 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 粉じんの発生を避ける。粉じんを吸い込まないよう留意。保護具を使用する。適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

環境に対する注意事項: 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。環境への放出は必ず避けなければならない。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。汚染された洗浄水を保管し、処分する。流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目 12 の環境影響情報を参照。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。回収物質は、ペント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 蒸気/粉じんを吸い込まない。禁煙。十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。皮膚や衣服に付けない。眼との接触を避ける。皮膚や眼への接触を避けること。漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

保管: 密閉容器に保管すること。一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。適切なラベルのついた容器に入れておく。各国の規定に従って保管する。

次の製品種類といっしょに保管しない: 強酸化剤。

容器に不適な素材: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

ばく露限界値が存在する場合は以下に記載されている。ばく露限界が表示されていない場合は適用しない。

曝露防止

工学的制御: 適切な換気装置の下でのみ使用する。

衛生対策: 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹸と水でよく手を洗う。使用後は、全ての保護服を洗う。

保護対策: この製品を使用するとき、製品の最終使用者は保護措置に関するラベルの指示に従わなければならない。化学薬品用防護服は全て、使用前に目視点検をすること。服および手袋が、化学薬品で汚染されている、あるいは、物理的損傷を受けている場合は交換すること。

保護具

呼吸用保護具: 適切な許容限界を超えた濃度で、空気中の浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。

手の保護具: 長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例: ブチルゴム。天然ゴム(ラテックス)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたは NBR)。ポリエチレン。エチルビニルアルコールアミナート(EVAL)。ポリ塩化ビニル(PVC または ビニル)。注意: 特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、

以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具：この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具：労働者保護基準（Worker Protection Standard）により許可された取り扱い区域に早期に立ち入り、植物、土壌、または水のような処理物への接触が伴う場合、必要な PPE（個人用保護具）は次の通りである。カバーオール 耐水性材料からなる耐薬品性手袋 靴とソックス

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	固体
色	オフホワイト あるいは 黄褐色
臭い	なし
臭いの閾値	データなし
pH	6.2 - 7.2 （1% 水溶液）
融点/ 範囲	データなし
凝固点	データなし
沸点 (760 mmHg)	データなし
引火点	データなし
蒸発速度（ $\rho_{\text{蒸発}}/\rho_{\text{水}}=1$ ）	データなし
可燃性（固体、気体）	データなし
爆発範囲の下限	データなし
爆発範囲の上限	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度（空気=1）	データなし
比重・相対密度（水=1）	データなし
水溶性	分散性
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
動粘度	データなし
爆発特性	非爆発性
酸化特性	データなし
かさ密度	617 kg/m ³ 緩い
分子量	データなし

注記： 上記の物理データは、代表値であり、仕様として解釈されるべきものではない。

10. 安定性及び反応性

反応性：反応性危険としては分類されない。

化学的安定性：指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。

危険有害反応可能性：知見なし。
特に言及すべき危害要因はない。

避けるべき条件：知見なし。

混触危険物質：なし。

危険有害な分解生成物：特に言及すべき物質は無し。

11. 有害性情報

本項にはデータが存在する場合に毒性情報が記載される。

急性毒性

急性毒性（経口）

誤飲した場合でも、毒性は非常に低い。 少量を誤飲しても有害な影響があるとは予見されない。

製品として。

LD50, ラット, > 5,000 mg/kg OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性（経皮）

長時間の皮膚接触で、有害量を吸収することはないであろう。

製品として。

LD50, ウサギ, > 2,000 mg/kg OECD 試験ガイドライン 402 この濃度では死に至らない。

急性毒性（吸入）

粉塵への単回ばく露による有害作用はないと考えられる。

製品として。

LC50, ラット, 4 h, 粉じん/ミスト, > 7.5 mg/l この濃度では死に至らない。

皮膚腐食性／刺激性

実質的に皮膚刺激性が認められない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

軽度の一過性眼刺激作用を起こすことがある。

感作性

皮膚感作性：

製品として。

モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

呼吸器感作性：
関連のあるデータは得られていない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

有効成分について：
動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：
肝臓

発がん性

有効成分について： 動物試験では発がん性はなかった。

催奇形性

有効成分について： 実験動物において発生毒性は観察されなかった。

生殖毒性

有効成分について： 動物試験では、生殖を阻害しなかった。

変異原性

有効成分について： 細菌または哺乳類培養細胞での試験では遺伝子の突然変異効果は発現しなかった。 動物実験では遺伝子の突然変異への影響は無かった。

吸引性呼吸器有害性

物性上、吸引性呼吸器有害性は低い。

12. 環境影響情報

本項にはデータが存在する場合に生態毒性情報が記載される。

一般情報

環境への危険有害性： 水、表面に水が存在する区域または平均高潮線未満の潮間区域に対して、直接使用しない。 装置を洗浄するときや装置の洗浄液またはリンス液を廃棄する際に水を汚染しないこと。

生態毒性

魚類に対する急性毒性

製品として。

LC50, *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス), 止水式試験, 96 h, > 1,000 mg/l, OECD 試験ガイドライン 203

製品として。

LC50, *Lepomis macrochirus* (ブルーギル), 止水式試験, 96 h, > 1,000 mg/l, OECD 試験ガイドライン 203

無脊椎動物に対する急性毒性

製品として。

EC50, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 止水式試験, 48 h, > 1.000 mg/l, OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生植物に対する急性毒性

製品として。

EC50, *Lemna gibba* (duckweed), 14 d, 葉状体, 0.0315 mg/l, US EPA 試験ガイドライン OPP 122-2 & 123-2

製品として。

無影響濃度, *Lemna gibba* (duckweed), 14 d, 葉状体, 0.02 mg/l, US EPA 試験ガイドライン OPP 122-2 & 123-2

製品として。

EC50, *Lemna gibba* (duckweed), 14 d, バイオマス, 0.0551 mg/l, US EPA 試験ガイドライン OPP 122-2 & 123-2

製品として。

ErC50, *Pseudokirchneriella subcapitata* (ムレミカツキモ), 72 h, 4.565 mg/l, OECD 試験ガイドライン 221

製品として。

ErC50, シアノバクテリア, 96 h, 4.0 mg/l

水生環境有害性 長期 (慢性)

無脊椎動物に対する慢性毒性

(製品自体のデータ)

無影響濃度, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 21 d, 26 mg/l

地上生物に対する毒性

製品として。

LD50, *Colinus virginianus* (コリンウズラ), > 2.250 mg/kg

製品として。

LD50, *Anas platyrhynchos* (マガモ), > 2.000 mg/kg

製品として。

LC50, *Colinus virginianus* (コリンウズラ), 8 d, > 5.620 mg/kg

製品として。

LC50, *Anas platyrhynchos* (マガモ), 8 d, > 5.620 mg/kg

製品として。

経口 LD50, *Apis mellifera* (ミツバチ), 48 h, 0.0411 mg/kg

製品として。

接触 LD50, *Apis mellifera* (ミツバチ), 48 d, 0.0178 mg/kg

土壌生息生物類に対する毒性

製品として。

LC50, *Eisenia fetida* (ミミズ), 14 d, > 1,000 mg/kg

残留性・分解性

生分解性: 易分解性ではない。 活性成分のデータに基づく推定

生体蓄積性

生体蓄積性: 生物濃縮されない。 活性成分のデータに基づく推定

土壌中の移動性

リムスルフロン

関連のあるデータは得られていない。

Alkyl naphthalenesulfonic acid, polymer with formaldehyde, sodium salt

関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性

リムスルフロン

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

Alkyl naphthalenesulfonic acid, polymer with formaldehyde, sodium salt

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

リムスルフロン

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

Alkyl naphthalenesulfonic acid, polymer with formaldehyde, sodium salt

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法: 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。以下の情報は購入時の状態のときのみに適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を定める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

道路及び鉄道輸送に関する分類 (ADR/RID):

国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (Rimsulfuron)
国連番号	UN 3077
国連分類	9
容器等級	III

海上輸送に関する分類 (IMO-IMDG):

国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (Rimsulfuron)
国連番号	UN 3077
国連分類	9
容器等級	III
海洋汚染物質 (該当・非該当)	該当
MARPOL 73/78 の Annex I または II および IBC または IGC コードに従い積荷を運搬 する。	Consult IMO regulations before transporting ocean bulk

航空輸送に関する分類 (IATA/ICAO):

国連輸送名	Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s. (Rimsulfuron)
国連番号	UN 3077
国連分類	9
容器等級	III

詳細情報:

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。輸送分類は容器の大きさや国や地域の法令により異なることがあります。追加情報は、弊社の営業担当者またはカスタマーサービスより入手してください。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

農薬取締法

16. その他の情報

その他の情報

ラベルに記載された使用説明に注意する。

改訂

ID 番号：011000006589 / 発行日：2020/11/30 / 版番号：4.2

最新の改訂事項は、この文書全体にわたって、左側の余白に太字の二重線で強調してある。

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリ； AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ； ANTT - ブラジル国家輸送機関； ASTM - 米国材料試験協会； bw - 体重； CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質； DIN - ドイツ規格協会基準； DSL - 国内物質リスト（カナダ）； ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度； ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合； EmS - 緊急時のスケジュール； ENCS - 化審法の既存化学物質リスト； ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率； ERG - 緊急対応の手引き； GHS - 世界調和システム； GLP - 試験実施規範； IARC - 国際がん研究機関； IATA - 国際航空運送協会； IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則； IC50 - 50% 阻害濃度； ICAO - 国際民間航空機関； IECSC - 中国現有化学物質名録； IMDG - 国際海上危険物規程； IMO - 国際海事機関； ISHL - 労働安全衛生法（日本）； ISO - 国際標準化機構； KECI - 韓国既存化学物質名録； LC50 - 50% 致死濃度； LD50 - 50% 致死量（半数致死量）； MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約； n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く； Nch - チリ規則； NO(A)EC - 無有害性影響濃度； NO(A)EL - 無有害性影響レベル； NOELR - 無有害性影響負荷割合； NOM - メキシコ公式規則； NTP - 米国国家毒性プログラム； NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳； OECD - 経済協力開発機構； OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局； PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性（物質）； PICCS - フィリピン化学物質インベントリ； (Q)SAR - （定量的）構造活性相関； REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録（REACH）に関する規則（EC）No 1907/2006； SADT - 自己加速分解温度； SDS - 安全データシート； TCSI - 台湾化学物質インベントリ； TDG - 危険物輸送； TSCA - 有害物質規制法（米国）； UN - 国連； UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告； vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性； WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社は、お客様や(M)SDS の受領者の皆様が、この(M)SDS の掲載データや、この製品に伴う危険有害性を認識し理解するために、(M)SDS を慎重に検討され、必要に応じて適宜しかるべき専門家にご相談されるようお願いしております。掲載内容は誠意をもって提供したものであり、上述の発効日の時点で正確なものであると考えております。ただし、明示および黙示の保証を行うものではありません。法令の要求事項は、改正されたり、地域により異なることがあります。使用に関する適用法令の遵守は使用者の責任です。ここに掲載された情報は出荷した製品についてのものです。製造会社は製品の使用条件について関知するところではありませんので、製品の安全な使用条件は、使用者の責任において決定して下さい。各製造会社固有の(M)SDS などの情報源が増加していますが、弊社は弊社以外の製造会社から入手した(M)SDS に関しては一切責任を負いません。他の情報源から入手した(M)SDS をお持ちの場合や、お手元の(M)SDS が最新版であるという確信が持てない場合は、弊社にご連絡ください。

JP